

# 金沢市人口ビジョン【改訂版】(案)の概要

前回策定時に引き続き、社人研(2013)準拠推計をベースとするが、現況把握のため参考値として社人研(2018)準拠推計を掲載

**自然動態・社会動態の推移**

**自然動態** ・出生数 4,099(2010年) 2,004(2060年)  
 ・死亡数 3,872(2010年) 6,454(2060年)  
 2015年に減少段階に入り、2060年は4,450人減少

**社会動態** ・転入数 17,102(2010年) 14,793(2060年)  
 ・転出数 15,918(2010年) 14,268(2060年)  
 2008年から増加傾向にあり、2060年は525人増加

**市独自施策による人口の将来展望**

**出生数の増加**：国の目標に準じ、合計特殊出生率を1.6(2020年)→1.8(2030年)→2.07(2040年)に向上

**転入の増加**：移住・定住、UJIターンの推進により30人/年の転入増

**転出の抑制**：高等教育機関との連携により、毎年市外へ就職する学生約2,000人のうち、200人(1割)の学生を本市に留める

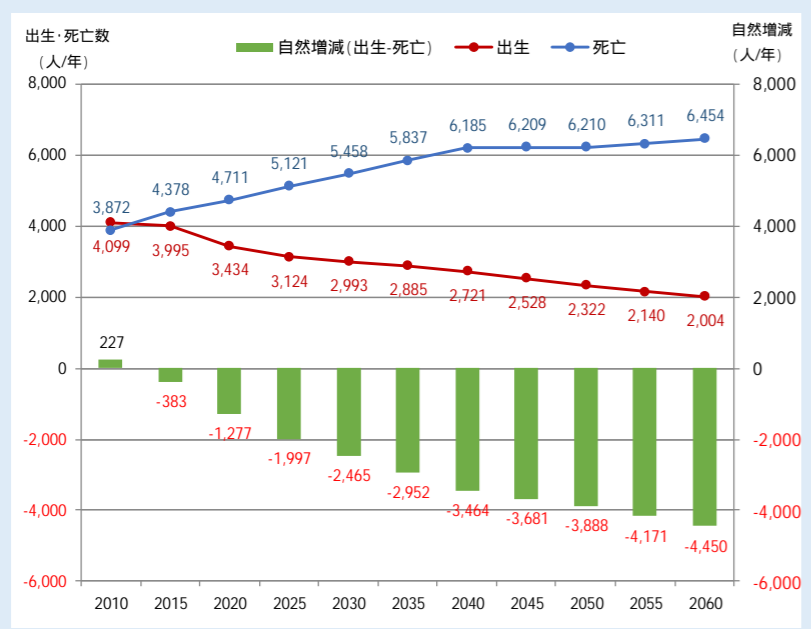
学生の転出抑制からの若年層の増加により出生数もさらに増加

**総人口の推移(将来展望)**

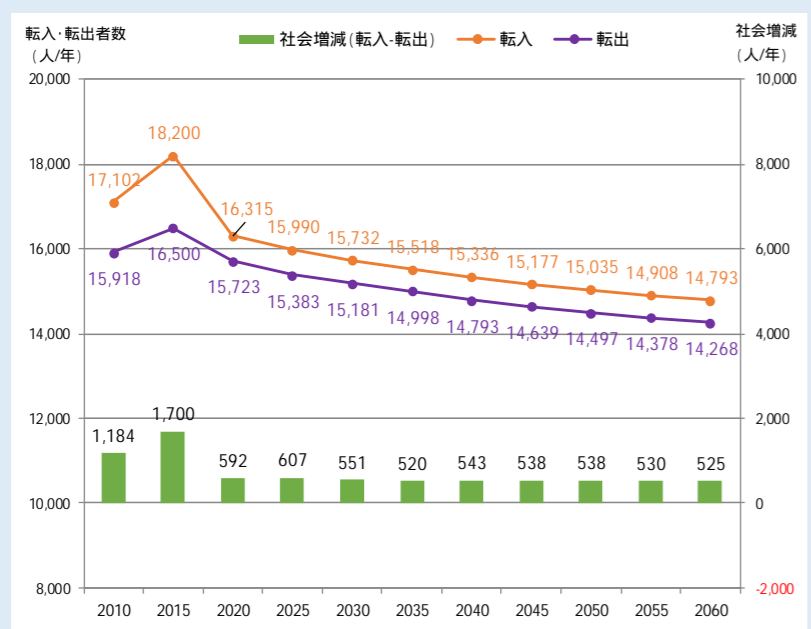
・社人研(2013)による推計では、2060年に34万7千人まで減少する見込みであるが、2030年までは現状の人口を維持し、2060年には社人研推計(2013)に対して8万5千人の増加を目指す。子育て施策の充実などによる出生率の向上 **68,000人増加**

固有の歴史・文化を持つ金沢の強みを生かした施策の推進による転出者の抑制など **17,000人増加**

自然動態の推移

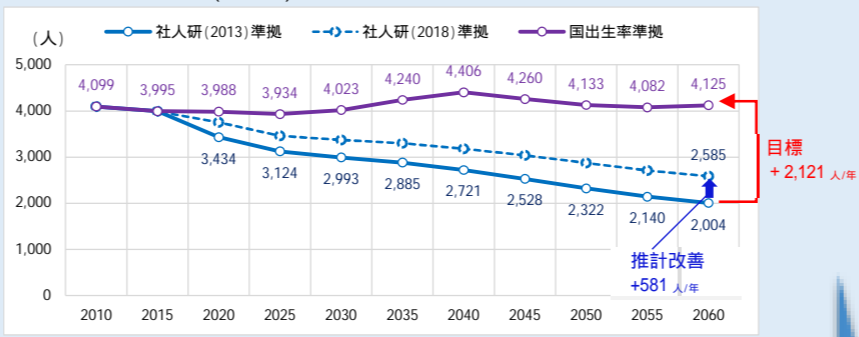


社会動態の推移

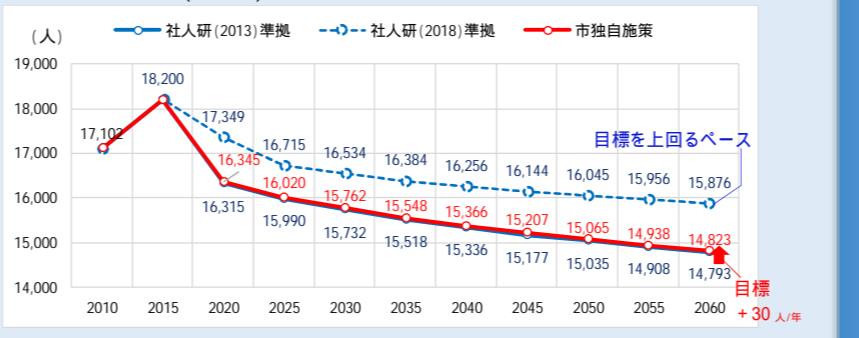


2008年～2017年までの実績値は転入超過で推移していたが、2018年は転出超過となったため、今後の社会動態については、特に注視していく必要がある。

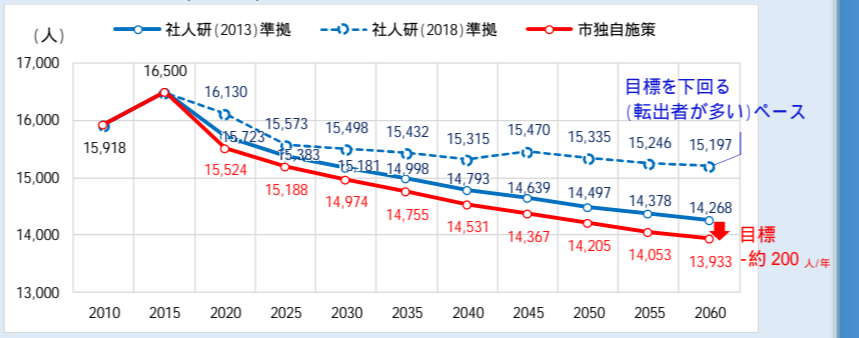
出生数の増加(推計)



転入の増加(推計)



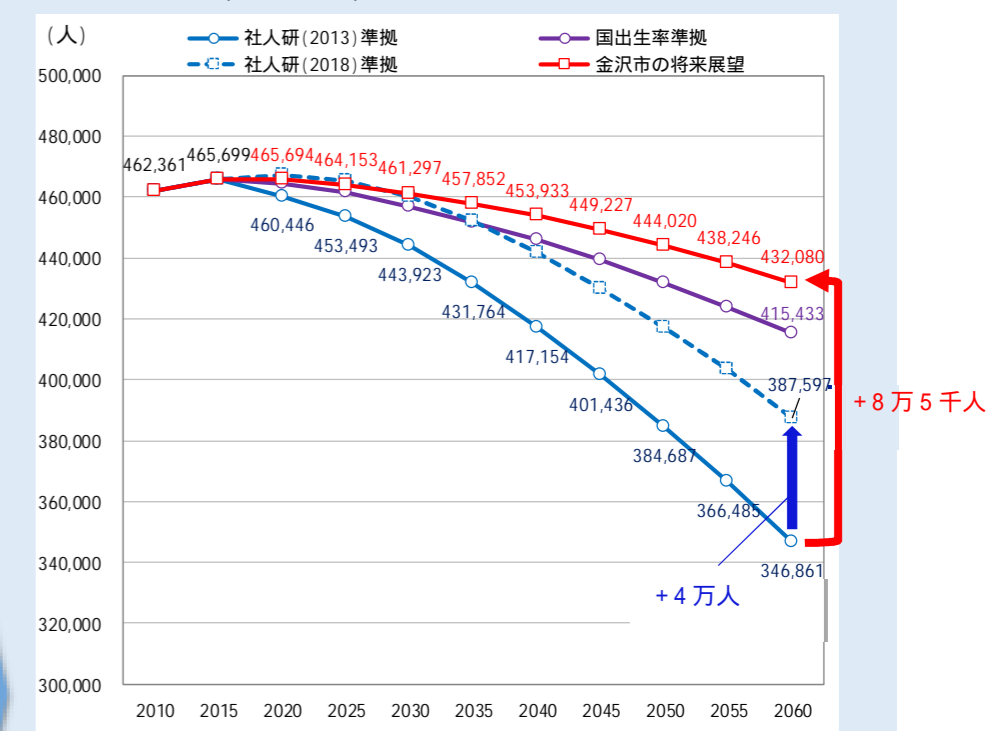
転出の抑制(推計)



社会増による出生数の増加(推計)



総人口の推移(将来展望)



参考:人口の増減の推移

